

⑪ ^{ヘイセイ}平成30年度 ^{ネド}平湯川砂防樹林帯工事 ^{ヒラユ ガワサボウ ジュリンタイ コウジ}における ^{アンゼン タイサク}安全対策について

平成30年度 平湯川砂防樹林帯工事
(工期:平成30年 8月28日～平成31年度3月27日)

美笠建設株式会社

○現場代理人 ^{コ マエ ヒロ アキ}小前博明
主任技術者 小前博明



キーワード

現場出入り口の事故防止

1.はじめに

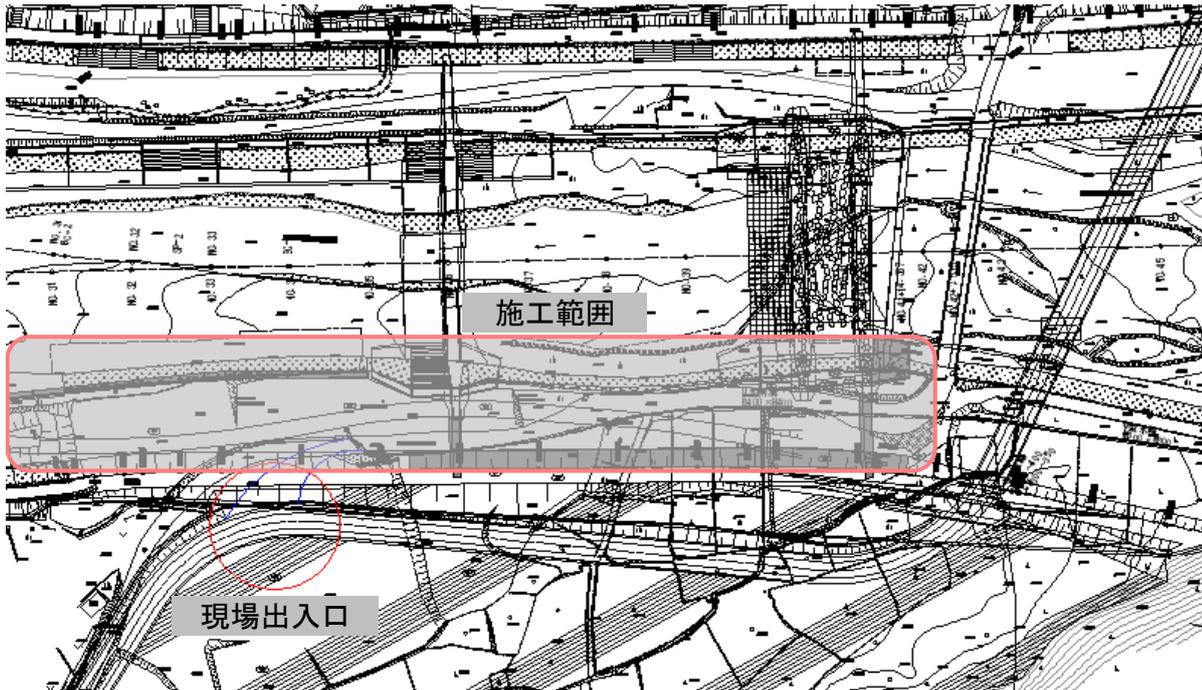
当工事は、高原川支流平湯川の木々をそのまま樹林帯として取込み、現在の自然をできるだけ残して、洪水の時に土砂が流されないように、また、上流から流れてきた土砂を止めることを目的とし、上流の『しのぶ砂防堰堤』と一体となった自然環境を生かした砂防施設として整備する工事です。



2.工事概要

砂防土工		V=3,00m ³		
床固め工	コンクリート	V=145m ³	巨石張	A=88m ²
帯工	コンクリート	V=112m ³		
導流提工	巨石張工	A=768m ²		
天端巻止工	平ブロック張	A=205m ²		
構造物撤去工		N=1式		
仮設工	仮水路工	L=50m	除雪工	N=1式

3.現場の条件



※ 現場へに進入路は上記図面の赤丸部しかない。

4.考えられる問題

4.1 出入口での交通事故

現場から市道 今見・村上線に出るときは、村上地区側が見にくい。

4.2 出入口付近でのスリップ事故(冬期)

新村上橋を渡ってから出入口までは直線、なおかつ下り勾配。

4.3 第三者災害

出入口に石が落ちていて一般車にあたってしまう。

5.対策

5.1 視認性の確保



・カーブミラーを設置し、見にくい村上地区側の確認ができるようにした。

5.2 凍結防止

- 現場に居た時に走行している車がスピードを出してカーブを曲がっている場面が多々見受けられた。
- 冬期においても路面に雪が無い時は、スピードを出されている。
- 現場から出るときは、汚濁防止の為、タイヤを水で洗浄しているので路面が濡れてしまいます。
- 寒い時は日中でも直ぐ凍みてしまいスピードを出された一般車が事故を起こすかもしれません。
- よって、3℃以下(凍みる前)になった夕方方には塩化カルシウムを散布し、凍結防止を心掛けています。



作業終了後の塩カル散布

- 現場から市道に出ないときも雪解けで濡れた路面が凍みて事故が起きないように近くに塩カル収納箱を設置して対応しています。



塩カル収納箱

5.3 市道横断部の清掃

- 昼と夕方に路面清掃をするようにしていましたが、事務所長より汚濁していると指摘を受けました。



- ・ 指摘後、直ぐ清掃を行い汚濁防止のための設備を検討・準備を行い大型ダンプ用のタイヤ洗浄機の設置と単粒の敷設を行いました。
- ・ しかし大型車が現場から出入りをすると、たまに小石が路面に落ちてしまいます。
- ・ 大型車が入り出すときは、清掃員を配置し路面を清掃するようにして、通行者への飛び石が無いよう心がけています。



道路清掃状況

6. おわりに

事務所長の指摘のおかげで出入り口の対策についていくつか行っていますが、今のところ事故は有りません。効果は本降雪期に判明するかと思います。

工期終了まで、第三者災害防止に力をいれ、無事故・無災害で工事が終われるよう、日々の点検、書類だけで終わることなく、状況の変化に対する自己の感覚や作業員の体調・動作などの観察にも互いに留意し安全に施工していきたいと思ひます。